

はじめに



近年、余暇時間の増大や少子高齢化社会の到来により、健康への関心が高まると同時に、市民の健康増進を図る運動に対するニーズはますます増加・多様化しています。

このような傾向は、団塊の世代が退職を迎える現状を考えると益々増大し、これに見合う諸施設の整備が問題化され、施設の整備を早急に行う必要性が生じております。

市では、「第三次川越市総合計画」の中で「子供から高齢者までが利用できるレクリエーションの場として、余熱利用施設を含む公園を推進する。」と定めております。

今般、名細地区に新たに清掃センターを建設しますが、隣接する用地をスポーツ多目的施設エリアとして位置づけ、熱回収施設から発生する熱エネルギーの有効利用を図る温水利用型健康運動施設（余熱利用施設）や多目的グラウンド及び広場等を都市公園として整備してまいります。

基本計画の策定にあたりましては、公園予定地の敷地状況や周辺施設の整備状況および市民のスポーツ、レクリエーション需要を整理し、身近なスポーツを楽しめる運動施設を主体に、休養施設、修景施設などを配置した空間の創出、また、用地周辺の湧水等の有効利用や太陽光・風力発電等自然エネルギーの利用等を含めた総合的な環境づくりを目的としており、多くの市民が安心して一日楽しくスポーツやレクリエーションができ、誰もが憩える公園としていくための基本的な考え方を整理したものです。

計画の対象区域は、8.3haにおよぶ大規模なものでありますが、市民の皆様のご意見などを拝聴しながら公園の整備等を進め、後の世代に誇れる公園にしていきたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

平成19年11月

川越市長 舟橋功一